

文化の交流と景観

北部九州の陶芸と文化的景観をあつかう本研究プロジェクトが2年目を迎えた。あたらしい景観セミナーレクチャーシリーズが始まる。本シリーズのテーマは『文化の交流と景観』。国境や地域の伝統は、人々がその場に長くとどまりつつ、しかも他地域と活発に交流することによって成立し、維持されてきた。4つのセミナーをとおしてそのことを確認しつつ、現在における文化の形成と交流の意義を、景観を軸にいっしょに考えたい。



熊川, 韓国



波佐見, 長崎



小石原, 福岡

第1回 5月16日(木) 18:00-19:30
長崎国際大学 人間社会学部 国際観光学科 教授
木村 勝彦
「陶磁文化を基盤とした日韓観光交流
の可能性について」

第2回 6月11日(火) 18:00-19:30
熊本大学 政策創造研究教育センター 准教授
田中 尚人
「文化的景観保全と景観まちづくり」

第3回 6月21日(金) 18:00-19:30
東釜山大学校 生活陶芸科 教授
金 炫式
「機張陶磁および機張陶藝村造成に
関する研究」

第4回 7月16日(火) 18:00-19:30
九州産業大学 工学部 都市基盤デザイン工学科 准教授
内田 泰三
「窯業と里山景観」

場所：九州産業大学景観研究センター
景観ライブラリー(23号館4階) ※参加費無料

(第3回については、別の場所での開催を予定しているため、改めてお知らせいたします)

主催：九州産業大学 景観研究センター

平成25年度(24年度採択)私立大学戦略的研究基盤形成事業
「北部九州の窯業に着目した
文化的景観の形成と保全に関する研究」

連絡先：

福岡市東区松香台 2-3-1
九州産業大学 景観研究センター
<http://www.ip.kyusan-u.ac.jp/J/landscape/>
(電話) 092-673-5501 (産学連携支援室)
(E-mail) sangaku@ip.kyusan-u.ac.jp